

国語科

教科名	国語科	科目名	国語総合(現代文)
科目の目標	国語を適切に表現し、理解する能力を育成し、伝えあう力を高めるとともに、思考力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る。		
履修学年	1年	類型	
単位数	2/5単位	履修形態	必修
教科書	国語総合改訂版 現代文編(大修館書店)	副教材等	新版五訂 新訂総合国語便覧(第一学習社)

①学習の目標

- (1) 国語を適切に表現し、理解する能力を伸ばす。
- (2) 伝え合う力を高め、思考力を伸ばし、言語感覚を磨く。
- (3) 言語文化への関心を高め、近代以降の様々な文章を読み、読書に親しむ態度を身につける。

②学習内容と授業の進め方

- (1) 様々な問題について自分の考えを持ち、筋道を立てて意見を述べる。
- (2) 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりする。
- (3) 課題を解決したり考えを深めるために、相手の立場や考えを尊重して話し合う。
- (4) 相手や目的に応じて題材を選び、効果的な表現を考えてまとめる。
- (5) 論理的な構成を工夫して、自分の考えを文章にまとめる。
- (6) 優れた表現に接してその条件を考え、自分の表現に役立てる。
- (7) 文章の内容を叙述に即して的確に読みとったり、必要に応じて要約したりする。
- (8) 文章を読んで、構成を確かめたり表現の特色をとらえたりする。
- (9) 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。
- (10) 様々な文章を読んで、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする。
- (11) 目的や場に応じた話し方や言葉遣いなどを身に付ける。
- (12) 文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表現の仕方などを理解し、語彙を豊かにする。
- (13) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようにする。
- (14) 教材は教科書を中心に、プリント等を活用し、まとまった文章読解ができるようにする。
- (15) 読書ノートを活用する。

③学習に当たっての留意点

- (1) 常に主体的に学習に取り組むことを心がけ、自分の考えを持ち、積極的に発言、表現する姿勢を持つこと。
- (2) 様々な表現技巧、語句、語彙について辞書や便覧などで調べ、読解に役立てるとともに、日常の言語活動に利用すること。
- (3) 論理的文章について、論理の展開や要旨を的確に捉えること。また、書き手の考えやその展開などについて意見を書くこと。
- (4) 文学的文章について、人物、情景、心情などを的確に捉え、表現を味わうこと。また、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。
- (5) 様々な文章を読んで人物、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させるとともに興味関心を広げるために、関連する文章を読んだり創作的な活動を行ったりすること。
- (6) 課題は期限を守って確実に提出すること。

④評価の観点

(1) 「関心・意欲・態度」【関】

自らの国語力の向上を図るため、予習・復習をしっかりと行い、授業に関しても、その内容を積極的に理解し、自らを高めようとする姿勢が見受けられることを基本とする。様々な課題に関しても、取り組みが充分であり、自主的に質問をしたりするなど、理解しようとする態度も評価する。さらに、教材や作者に関して主体的に調べたり、発展的に学習を進めたりすることができることが望ましい。

(2) 「話すこと・聞くこと」【話】

「話すこと」に関しては、目的や場に応じて、自分の意見を述べるができることを基本とする。さらに、様々な問題について自分の考えをまとめ、構成を考え、筋道を立てて相手に分かりやすく話すことができることが望ましい。また、「聞くこと」に関しては、まとまった長さの説明を聞いて、内容を正確に理解できることを基本とする。さらに、その内容に共感したり、問題点を指摘したりすることができることが望ましい。

(3) 「書くこと」【書】

誤字・脱字や、主述や文脈の乱れがなく、相手や目的に応じて言葉や文体を使い分けて書くことができることを基本とする。さらに、論理的な構成を工夫したり、効果的な表現を交えて書くことができることが望ましい。

(4) 「読むこと」【読】

表現に留意して、様々な文章の内容を読み取り、ものの見方・感じ方・考え方を広げ、描かれた人物・情景・心情などを味わっていくことができることを基本とする。さらに、難解な文章でも文脈に即して的確に読み取り、自らの考えを深めていくことができることが望ましい。

(5) 「知識・理解」【知】

近代以降の様々な文章の読解を通して、語彙・表現・文学史等を理解し、今後の文章読解・鑑賞・表現に役立てられる知識として蓄積することを目指す。

⑤評価の方法

「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「知識・理解」の5つの観点で、以下の学習の状況を総合的に評価する。なお、学年末の評定は「国語総合」の中の「現代文」「古典」の二つの領域を総合して評価する。

- (1) 学習活動に対する取組姿勢
- (2) 提出された課題の内容
- (3) 定期考査及び小テストの結果

⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法など(観点項目を記入)
4	評論の型を学ぼう①	評論 富士山のカタチ(池内紀)	【関】論理的文章の構成や展開を的確に捉えようとしている。 【読】論理的文章の構成や展開を的確に捉えている。 【知】語句の意味、用法を的確に理解している。
5	効果的な話し方・的確な聞き方を学ぼう	実用的文章を聞く	【関】目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりしようとしている。 【聞】目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりしている。
6			[前期中間考査]
7	心情を読み取ろう①	小説 羅生門(芥川龍之介)	【関】文章に描かれた心情を表現に即して読み味わおうとしている。 【読】文章に描かれた心情を表現に即して読み味わっている。 【知】語句の意味、用法を的確に理解している。
8	評論の型を学ぼう②	意見文を書く	【関】論理的文章の構成や展開を的確に捉えようとしている。 【読】論理的文章の構成や展開を的確に捉えている。 【知】語句の意味、用法を的確に理解している。
9			[前期期末考査]
	評論の型を学ぼう③	評論 水の東西(山崎正和)	【関】論理的文章の構成や展開を的確に捉えようとしている。 【読】論理的文章の構成や展開を的確に捉えている。 【知】語句の意味、用法を的確に理解している。
10	要約しよう	評論 白(原研哉)	【関】論理的文章の構成や展開を的確に捉えようとしている。 【読】論理的文章の構成や展開を的確に捉えている。 【知】語句の意味、用法を的確に理解している。
11			[後期中間考査]
12	根拠を持って伝えよう	グループディスカッション	【関】根拠を明確にして意見を述べようとしている。 【話】根拠を明確にして意見を述べている。 【知】適切な表現の仕方を理解している。
1	情報を読み取ろう	図表から読み取ったことをまとめよう	【関】根拠をもとに自分の考えを的確に文章にまとめようとしている。 【書】根拠をもとに自分の考えを的確に文章にまとめている。 【知】語句の意味、用法を的確に理解している。
2	心情を読み取ろう②	小説 夢十夜(夏目漱石)	【関】文章に描かれた心情を表現に即して読み味わおうとしている。 【読】文章に描かれた心情を表現に即して読み味わっている。 【知】語句の意味、用法を的確に理解している。
			[後期期末考査]
3	創作しよう	ディベートをする	【関】根拠を明確にして意見を述べようとしている。 【話】根拠を明確にして意見を述べている。 【知】適切な表現の仕方を理解している。